

四万十のトマトは、真っ白な施設の中、最先端の技術と実直な職員のハートで、真っ赤に育ちます。



4.3ha、軒高6mの広大なハウス

※定植後のイメージ(高知県立農業担い手育成センター提供)



高所作業車



最新の統合環境制御装置を導入



エアシャワー

**クリーンな栽培環境**  
衛生管理の徹底により、病害虫の持ち込みを少なくすることで減農薬栽培を実現。



養液栽培装置

**養液の再利用**  
トマト栽培に使用する養液は、殺菌した上で再利用。



おが粉ボイラー

**エネルギーの地域内循環を実現**  
地域の木材から製造したおが粉を燃料にして、ハウスの暖房用温水を供給。



選果ライン

**衛生的な環境で選果選別**  
二重扉構造で外部と遮断し、異物混入を防止。



種苗供給施設  
(四万十あおぞらファーム)

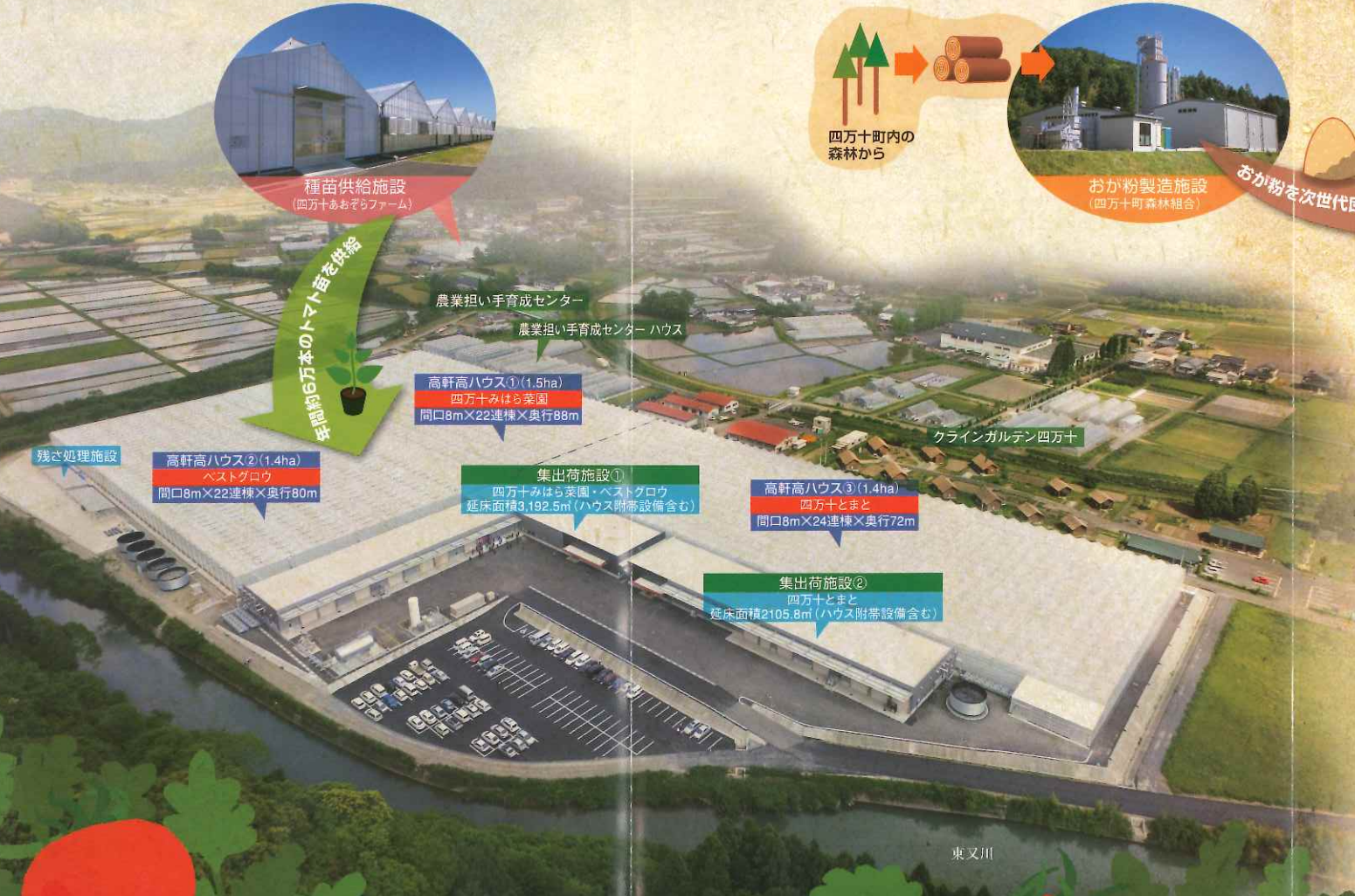


四万十町内の森林から



おが粉製造施設  
(四万十町森林組合)

おが粉を次世代団地へ供給



農業担い手育成センター

農業担い手育成センターハウス

高軒高ハウス①(1.5ha)  
四万十みはら菜園  
間口8m×22連棟×奥行88m

集出荷施設①  
四万十みはら菜園・ベストグロウ  
延床面積3,192.5㎡(ハウス附帯設備含む)

高軒高ハウス③(1.4ha)  
四万十とまと  
間口8m×24連棟×奥行72m

集出荷施設②  
四万十とまと  
延床面積2105.8㎡(ハウス附帯設備含む)

高軒高ハウス②(1.4ha)  
ベストグロウ  
間口8m×22連棟×奥行80m

残さ処理施設

年間約6万本のトマト苗を供給

クラインガルデン四万十

**四万十町次世代団地(次世代施設園芸高知県拠点)**

2016年7月に栽培開始

- 事業名** 平成26年度(補正)次世代施設園芸導入加速化支援事業
- 総事業費** 約27億円(敷地整備除く)
- 栽培品目** トマト **面積** 4.3ha
- 目標収量** 単収: 1,651t(38.4t/10a)
- 支援組織** 高知県次世代施設園芸団地推進協議会
- 協議会** (有)四万十みはら菜園、(株)ベストグロウ、四万十とまと(株)、四万十あおぞらファーム(株)、(株)勝産業、四万十町森林組合、四万十農業協同組合、高知県園芸農業協同組合連合会、高知大学農学部、高知工科大学、四万十町、高知県(普及・試験・研修組織含む)
- 取組企業** (有)四万十みはら菜園、(株)ベストグロウ、四万十とまと(株)



高知県は、温暖な気候と日照に恵まれた、農業が盛んな土地柄で、海岸部から四国山地に至るまで農業が発展しており、特に平野部での施設園芸が盛んな土地柄です。

その園芸王国高知に2016年、県内最大面積を誇る4.3haの四万十町次世代団地(次世代施設園芸高知県拠点)が誕生しました。

従来型の約3倍となる軒高6mのハウスには、最新の統合環境制御装置が装備され、温度・湿度・二酸化炭素濃度といったハウス内環境が、コンピュータによって制御されています。

県内の3事業者が、約85人を新規採用し、平成28年7月からトマトの栽培をスタートさせます。オランダの最先端の環境制御技術と、地元の木質バイオマスエネルギーを活用して、従来の約2倍となる10a当たり38.4tの収量を目指します。



### 四万十町次世代団地 (次世代施設園芸高知県拠点)

〒786-0043 高知県高岡郡四万十町本堂707-58

#### お問合せ先

高知県次世代施設園芸団地推進協議会  
[事務局] 高知県農業振興部産地・流通支援課

Tel.088-821-4514



#### 事業主体



有限会社 四万十みはら菜園



株式会社 ベストグロー

Tel.0880-29-2600 (共通)



株式会社 四万十とまと

Tel.0880-29-2020

## 四万十町 次世代団地

次世代施設園芸高知県拠点